

duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願い致します。昨年はコロナで明け、コロナで終わった1年でした。今年も、新年早々、非常事態宣言を、首都圏の知事たちが国に要請したり、まだまだ、終息には程遠い状況です。ワクチン接種が早ければ、2月には始まるようですが、その効果が表れてくるのは、しばらく先になります。爆発的な感染拡大にならぬよう、皆さん気をつけましょうね。

## 耐震工事を含む全面改修工事 中間報告



先々月号のドームでご紹介した耐震工事を含んだ全面改修工事の途中経過をご報告いたします。

まだ、下地工事の段階ですが、この写真からも、広々とした、気持ちのいい空間であることが分かります。

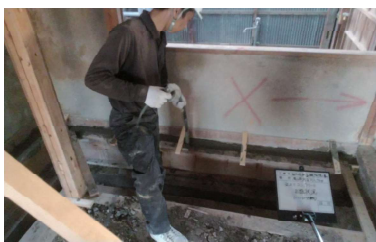
既存の和室と台所を一体化させて、LDKとし、それにつながる様に和室をとっています。

耐震工事はすでに終わっていて、全く違和感はありません。既存のものをできるだけ活かして、なるべく環境に負荷をかけないで、生活をしていく方法の一つとして、こういった中古住宅の改修工事というものを前向きにとらえていくことも大事なことのように思います。

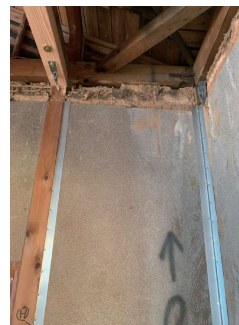
完成したらまたこのドームでご紹介させていただきますね。(^^)/



耐震補強工事の手間のかかる部分でいえば、この基礎補強工事がそれにあたります。右の写真のように、柱頭金物や柱脚金物で柱と梁や土台を緊結し、さらにアルミアングルと構造用合板で壁の補強をしたとしても、それを支える基礎がその強度に耐えるものでないとせっかく補強しても効果がないこととなります。



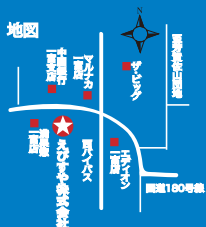
そこで、左の写真のように、現在ある基礎の内側に新たに鉄筋コンクリート製の基礎を添わせる基礎補強工事を行います。この場合、内側をなるべく壊さないで行おうとする場合には、外部に基礎を添わせることもできます。今回は、リフォーム工事の中で床を張り替える予定がありましたので、内側に施工しました。



今回の木造住宅の耐震補強工事の主なものは左の写真のような柱頭金物やその対の柱脚金物を、補強計画の中で支持されている箇所施工します。



そして、筋交いの代わりにアルミアングルと構造用合板を柱と柱の間に決められたビスの間隔で施工します。今回の工事では、この柱脚柱頭金物を施工する柱の本数は47本、構造用合板を施工する壁の箇所は30か所でした。



ご連絡先



086-284-6170

えびすや建築工房

TEL. 086-284-6170 E-mail. info@ebisuya-net.co.jp

FAX. 086-284-6175

こちらから無断でお伺いすることはございません。

えびすや 株式会社 〒701-1211 岡山市北区一言113-1